



令和4年9月16日(金)
国土交通省関東地方整備局
道路部

記者発表資料

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験(社会実験)
の実施について

- 国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験(社会実験)を、公募により平成11年度から実施しています。
- 令和4年度においても実験を実施する地域を公募し、関東地方整備局管内では、以下の実験が採択されましたので、お知らせします。

申請団体	実験の名称	実験の概要	タイプ
栃木県	栃木県宇都宮市東部地域における新たな基幹交通の導入に伴う道路交通マネジメントについて	宇都宮市東部の新たな基幹交通を担うLRTの試験走行及び本格運行の各時点における交通量データ、ETC2.0及び民間プローブデータを収集・分析するとともに、道路利用者及び交通事業者へのアンケート調査の実施により課題を抽出した上で、信号現示調整のほか、交通手段の転換(パーク&ライド)や目的地までの経路変更等を道路利用者に提案し、道路交通の円滑化を図る。	現地実証実験 タイプ(複数年度)
東京都	電気自動車用充電器の公道設置に関する実証実験	公道への充電器の設置の可能性を検討するために、充電器を試験的に複数箇所設置し、交通管理者、道路管理者、設置事業者の課題を抽出し、今後の事業促進を目指す。時間制限駐車区間なども設置場所とすることで、公道に充電器を設置する際の課題や留意事項等について検証を行う。	現地実証実験 タイプ(複数年度)

- 社会実験については、以下のホームページをご覧ください。
<https://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>
- 令和4年度に提案のあった「道路に関する新たな取り組みに活用できる民間企業等が有するアイデア」については、以下のホームページをご覧ください。
https://www.mlit.go.jp/road/demopro/public_offering/kohyo/r04.html

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、栃木県政記者クラブ、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 道路部

道路計画第二課長 もりやま よしふみ 森山 祥文(内線4251)

課長補佐 えばと たかあき 江波戸 孝明(内線4253) 電話 048-600-1342